

# 193.病院前救護における精神科救急スクリーニング&トリアージ尺度の妥当性に関する研究

## 研究の概要

精神心理的な問題を抱えて救急搬送される方を迅速かつ適切に搬送するための尺度について妥当性を検討します。

## 研究の目的と方法

精神心理的な問題がある場合、救急隊の現場活動の時間や病院照会回数が増えることが知られていますので、その改善に資する尺度を検証します。多施設共同での前向き調査で、熊本市消防局が調査協力病院へ搬送した方で、該当する方について、個人を特定しない形で調査します。

## 本研究の参加について

対象：2023年9月1日から2024年3月31日までの間に救急搬送された、精神系の主訴、自損行為を主訴とする患者様を対象としています。

研究方法：救急活動実施時、また、受診時に記録された診療録から、研究計画書に記載された項目について抽出し、個人を特定できないよう匿名化を行った上で、用紙に記録します。記録された用紙は厳重に管理された方法で郵送し、調査事務局に蓄積し統計解析を行います。

## 調査する内容

施設情報、基本情報、医療情報など。

## 調査期間

研究対象期間：令和 5年 9月 1日～令和 6年 3月31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 8年 3月31日まで

## 研究成果の発表

研究代表施設によって、第31回・第32回日本精神科救急学会学術総会などで発表します。また、研究終了時に報告書を倫理委員会に提出します。

## 研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 精神科部長 橋本 聡

## 当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 精神科部長 橋本 聡

## 問い合わせ先

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。  
ご協力よろしくお願い申し上げます。

研究責任者：氏名 橋本 聡

所属：国立病院機構熊本医療センター精神科部長

住所：熊本市中央区二の丸1番5号TEL: 096-353-6501（代表）〔内線5816〕